

ポリエチレンフィルム製袋のヒートシール強さ

【測定試料】

市販の炭酸カルシウム含有のポリエチレン袋から切り取った試験片

【装置情報】

装置 : TX-700
 プロブ : 引張治具(特注)
 センサー : 50 N
 制御 : RheoTex(PCソフトウェア)

【測定条件】

測定モード : 引張測定
 引張速度 : 8.3 mm/s
 引張距離 : 150 mm
 試料検出 : 0.02 N
 測定温度 : 室温

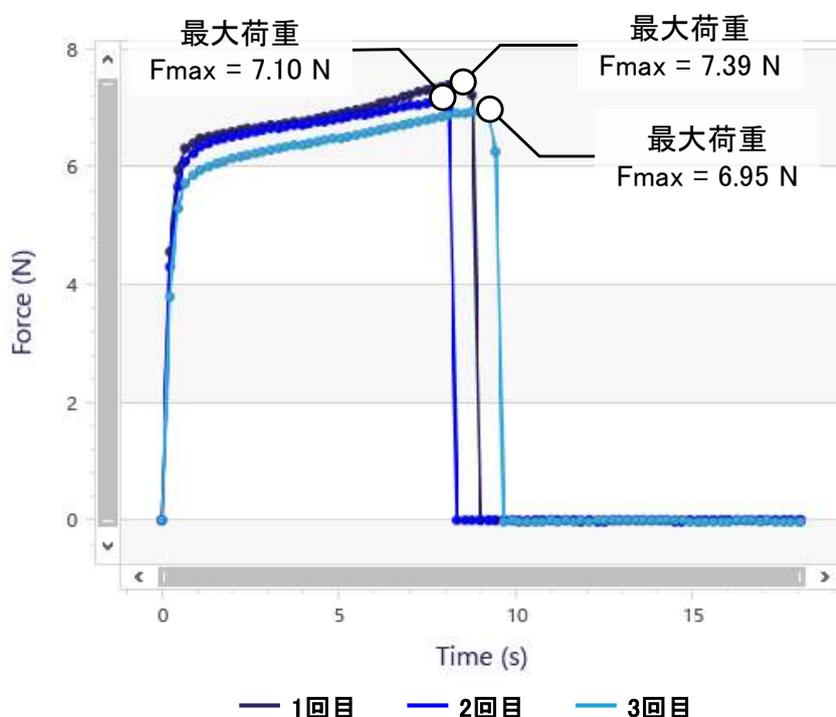
【測定】

JIS Z 1711-1994 に準じて測定を行った。

供試袋として厚さ0.018 mmの炭酸カルシウム含有ポリエチレン袋を用意した。ヒートシール部に直角にかつヒートシール部が試験片の中央になるようにして短冊状に切り取った。幅は15 mm、長さは100 mmとした。両端各25 mmをたるみが出来ないように治具で挟み、引張を行った。引張距離は試料が破断するために十分な距離とした。測定は3回繰り返し行った。

【結果】

試料が完全に破断するまで引張を行う測定を3回繰り返し、その際の各最大荷重を平均した値をヒートシール強さとして算出した。本試料のヒートシール強さは7.1 Nであった。



引張測定時における反発力の推移

各最大荷重とその平均値

1回目	2回目	3回目	平均
7.39 N	7.10 N	6.95 N	7.1 N



引張測定中の様子

Keywords: テクスチャーアナライザー, 引張治具, ポリエチレンフィルム製袋, ヒートシール強さ, JIS Z 1711-1994, ごみ袋, 破断, 引張, 引張モード